

オープンハウスアンケート調査結果について

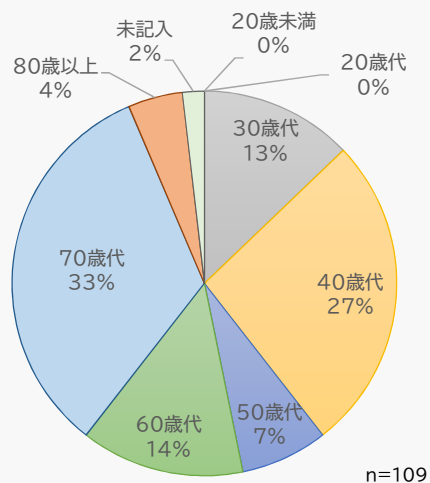
富田地区まちづくり基本構想の策定にあたり、これまでの検討内容について、「オープンハウス（パネル展示）」を実施し、来場者に対してアンケートを実施しました。令和3年7月3日（土）～9日（金）の期間に計6回にわたって、富田ふれあい文化センター、富田公民館、赤大路コミュニティセンターの3施設で行い、回答数は109件となりました。アンケート結果を以下に示します。（「n」は回答数を示す）

1 会場別アンケート回答者数

回	1	2	3	4	5	6	
日時	7月3日（土） 14～17時	7月4日（日） 10～12時	7月4日（日） 14～17時	7月5日（月） 14～17時	7月8日（木） 14～17時	7月9日（金） 14～17時	計
場所	富田ふれあい文化センター	富田公民館	赤大路コミュニティセンター	富田ふれあい文化センター	富田公民館	赤大路コミュニティセンター	
来場者数	9人	8人	21人	21人	14人	36人	109人

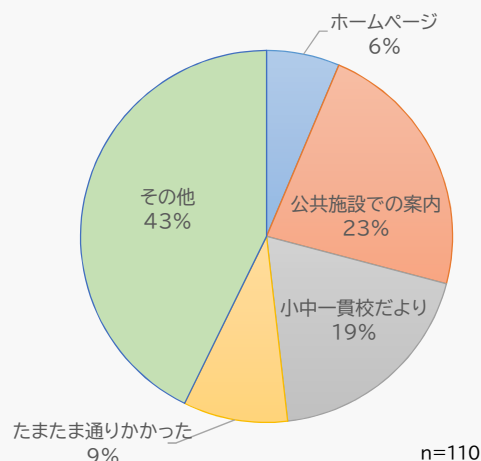
2 回答者の年齢

アンケート回答者の年齢層は、70歳代が最も多く33%でした。その次に、40歳代が27%、60歳代が14.0%、30歳代が13.0%と続きます。30歳未満の回答者はいませんでした。



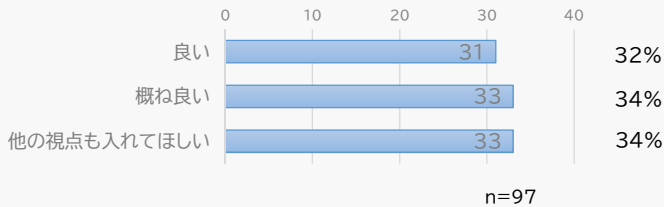
3 開催を知ったきっかけ

オープンハウスの開催を知ったきっかけについて、「公共施設での案内」が23%で多く、次いで「小中一貫校だより」が19%となっています。「その他」のうち半数は、「知人から聞いた」という回答でした。



4 まちづくりのコンセプトと基本方針について

まちづくりのコンセプトと基本方針について、「良い」「概ね良い」の合計が66%となりました。「他の視点も入れてほしい」の意見には、道路や跡地利用、避難所の確保などの視点がありました。



まちづくりのコンセプト

多世代が共に育む まちづくり

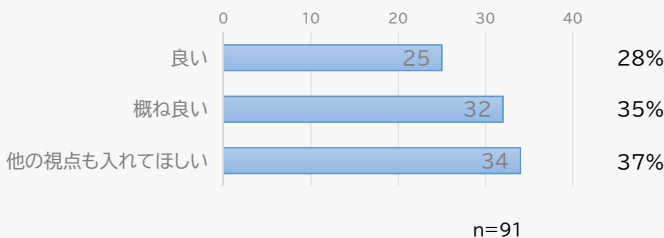
～多世代の多様な主体が つどい、つながり、育み合う まちづくり～

【まちづくりの基本方針】

- 1 **地域活動**
地域のつながりを深め、多世代交流・コミュニティ活動を活性化する
- 2 **地域資源・にぎわい**
住民主体のにぎわいづくりを育み、地区内外へと広げていく
- 3 **学び・子育て**
世代を通じて学び、地域ぐるみで次世代の担い手を育てる
- 4 **安全・安心**
防災力・防犯力を高め、誰もが安心して暮らせる地域を創る

5 公共施設再構築に向けた考え方について

公共施設再構築に向けた考え方について、「良い」「概ね良い」の合計が63%となりました。「他の視点も入れてほしい」の意見には、高齢者の利便性、施設分散、子供・子育て世代目線などの視点がありました。



【公共施設再構築に向けた考え方】

(1)機能構成及び施設配置

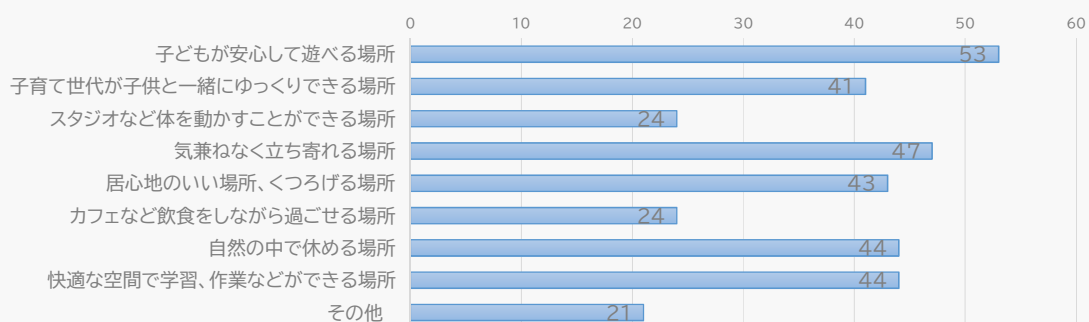
- 1 多世代交流を育むまちづくり拠点となる機能構成
- 2 安心して暮らせる防災機能の充実
- 3 誰もが訪れやすく連携を促進する施設配置

(2)施設総量・コストの最適化

- 1 総量の最適化
- 2 保全の最適化
- 3 コストの最適化

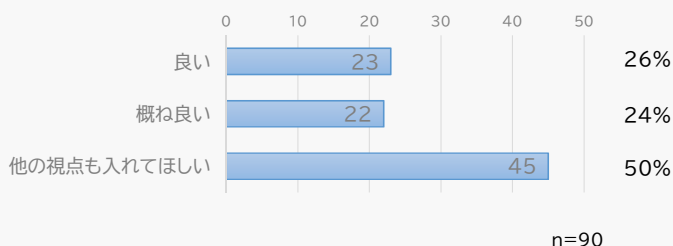
6 新たな公共施設に望む機能について

新たな公共施設に望む機能について、「子どもが安心して遊べる場所」が最も多く53件、次いで「気兼ねなく立ち寄れる場所」が47件となりました。「その他」の意見には、相談ができる場所、ボランティア等を気負わずにできる場所などがありました。



7 施設一体型小中一貫校の学校づくりの基本方針について

施設一体型小中一貫校の学校づくりの基本方針について、「良い」「概ね良い」の合計が50%となりました。「他の視点も入れてほしい」の意見には、人権教育の拠点校、学習力、多様性などの視点がありました。

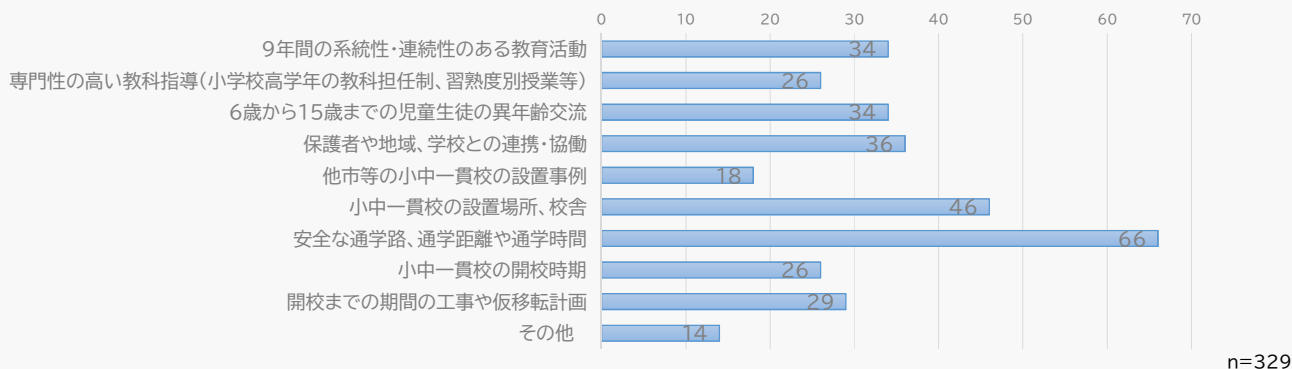


【学校づくりの4つの考え方】

- 1 「確かな学力」を育む 研究拠点校
- 2 子どもが「一体」となって ^{つむ}学びを紡ぐ環境
- 3 地域との「つながり」を深める 温もりのある学び舎
- 4 「安全・安心」の拠点

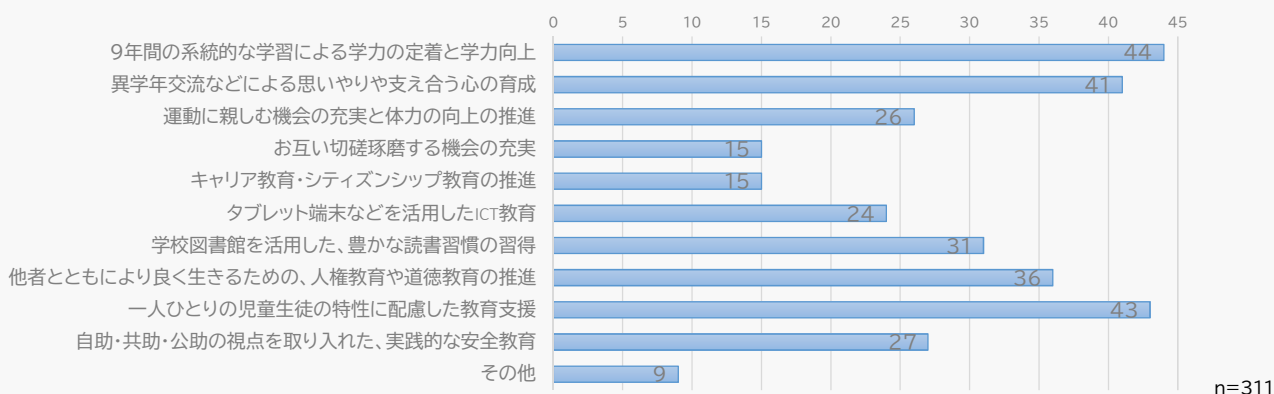
8 小中一貫校設置にあたり関心のあることについて

小中一貫校設置にあたり関心のあることについて、「安全な通学路、通学距離や通学時間」が最も多く66件、次いで「小中一貫校の設置場所、校舎」が46件となりました。「その他」の意見には、クラブ活動や学校開放が支障なく可能か、中学受験への影響や他所移転時の影響などがありました。



9 充実して欲しい教育について

充実して欲しい教育について、「9年間の系統的な学習による学力の定着と学力向上」が最も多く44件、次いで「一人ひとりの児童生徒の特性に配慮した教育支援」が43件となりました。「その他」の意見には、地域交流、国際交流、外部講師による多面的実践教育などがありました。



10 ご意見(自由記載)

富田地区まちづくり基本構想に対する主な意見を抜粋します。ただし、文字数の関係上、一部改変しています。

(1)基本構想・まちづくり

- ① 今後50年を見据えたまちづくりを
- ② 多様性が尊重されるまちづくりを
- ③ 全国のモデル地域・事業を皆で目指すことが大事
- ④ 地域の人がわくわくするような施設になり、高槻で一番の教育環境のあるまちづくりを
- ⑤ 公共施設の再構築と小中一貫校は各々別のものとしての方向性、課題の整理が必要ではないか
など

(2)公共施設

- ① 地域の人が過ごしやすい施設にしてほしい
- ② 現状の良さも評価し、残すべきところ、変えるべきところをしっかりと検討してほしい
- ③ 高齢者には施設分散の方が良い
- ④ ソフト面の支援も充実させていくことを検討してほしい
- ⑤ 野外ステージ等地域の人々が利用するイベント会場がほしい
など

(3)小中一貫校

- ① 市初の義務教育学校に期待している
- ② 踏切を2本越えねばならず危険、通学路の安全対策をしっかりとしてほしい
- ③ 校地選定の視点に通学路の項目がない
- ④ なぜ児童数の少ない富田小学校に統合するのか
- ⑤ 学校教育において、経営効率など考えるべきではない
など

(4)進め方

- ① 市民の意見を聞く場と市からの説明を、早めにしてほしい
- ② 今後の計画の日程を明確に示してほしい
- ③ 再構築ありきで、住民の声を吸い上げられていない
- ④ 地域住民としての参加感も高まるように進めてほしい
など

(5)跡地

- ① 跡地利用がどうなるのかを示してほしい
- ② 学校跡地にマンションが建設され、児童数が増加すれば、新設の小中一貫校だけでは不足するのではないか
- ③ 余剰地の活用に、広さのある公園を期待したい
- ④ 跡地も地域がつくるものにできればありがたい
など

(6)安全・安心

- ① 避難所についてどのように考えているのか
- ② 公共施設の複合化は施設数の減少を意味し、防災的観点では後退となるのではないか
- ③ 災害に強いまちづくりを
など

(7)地域の特性

- ① 由緒ある町を大きく改革することは良いこと
- ② 踏切の平面交差解消(地下道又は高架橋)に向けて、市全体で取り組んでほしい
など